

東向日キリスト教会

京都府向日市森本町下森本6-5

Tel: 075 (931) 5934

<http://www.h-mukou-ch.jp/>

ほっこりだより

第70号 2014年9月7日 発行

教会はほっこりする所

教会は建物ではなく、人の集まり。

欧州、米国など旅行すると大きな教会を目にします。これも教会と呼ばれますが、本来の意味は、神を信じる人々が呼び集められたところを言います。

小さな家の教会もあります

昔、開国後に来日した

ヘボン宣教師は、成仏寺

というお寺を改造して

教会として使いました。



教会は神を礼拝するところです。

礼拝とは、主に日曜日の朝、日々の守りを感じ、賛美と祈りをささげることです。限られた時間ですが、日常の忙しさから離れて聖書のことは聞き、神と共に過ごす時です。聖書に興味のある方、人生について相談のある方、どなたでも気軽にお出かけください。

「すべて、疲れた人、重荷を負う人はわたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」キリスト

教会は皆で楽しむところです。

神は、私達人間に、喜び楽しむよう教えています。この教会では、茶会、バザー、コンサート、花見や紅葉見物、子供達と餅つき会など毎年の行事として行っています。

教会は人と人との交わりを大切にしています。聖書には、「互いにし合いなさい」と書かれたところが五十箇所以上あります。互いのことを思い、互いのために行動するという実例や教えが数多く示されています。互いにとは、ひとりではなく、相手がいいます。誰一人話し合う人、喜びや悲しみを分かち合う人がいない孤独な生活は、むなしさ、しか残りません。

教会は、礼拝や各種のイベントを共に楽しみながら互いがこころをつにできるところです。また、一人一人の特技、神が下さったもの・音楽、料理、絵、手芸などを出し合って皆で楽しむことをします

「あなたがたは、互いに励まし合い、互いに徳を高め合いなさい。」聖書

教会は、神を信じる家族です。

イエス・キリストを信じた者は神の子ともなります。これは世の中の家族関係を否定するものではありません。信仰の家族、神の家族という世界規模の家族です。同じ信仰に立つ家族は、同じ価値観に立つのでこころが通じ合います。一人が苦しむ時は皆で祈ります。一人の喜びは全員の喜びとなります。世の家族の絆が薄くなっていますが、教会の絆は強いのです。

今、高齢者社会に入っています。やがて老人施設に入ったとしても神の家族として孤独や淋しさを味わうことはありません。

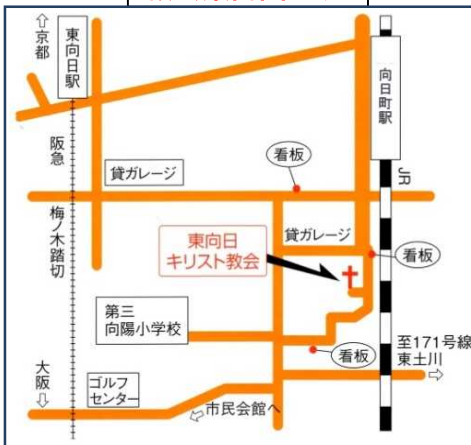
「わたしは、あなたがたを捨てて孤児にしません。」キリスト

教会は罪赦された者の集まり。

良く言われることですが、教会は立派な人が行くところ、修行して良い人間になつたら行きます等、それは誤解です。教会は、皆、以前は神を知らず、自分勝手に好きなように生きていた者（罪人）が、イエス・キリストの恵みによって救い出され、新しい命をいただいた者の集まりです。何ら立派なものではありません。これから後もキリストの示される道を歩み続けたいと思います。

教会は互いにこころをつにしているところ、決して敷居の高いところ、特別の人が行くところではありません。皆様も一度お出かけ下さい。

教会案内図です



ルンルンと風を切って教会へ

M・A子

いつの頃からでしょうか…。自転車をこぐ足が軽く、家を出るとすぐ、教会に着くように思います。時には健康のため、歩くことも良いのかなと考えますが、でも早く着きたいから今、やはり自転車が一番です。

数年前、私は心の苦痛から逃れるように、初めて教会の十字架を見て思わず、助けて下さい。」と心の中で手を合わせていました。



それからすぐるように、聖書のことばを求めました。三年ほど過ぎ、

私はイエス・キリストを信じる決心をして洗礼を受けました。喜んで教会に行くようになり、礼拝や学び、色々な行事に参加し、時が過ぎて行きました。

そんなある日、教会への足がふと重く、身体がしんどく感じるようになりました。思えば、それらのことを煩わしく思う自分がいたのです。

思わず正直に神様に告白し、「こんな私を赦して下さい。」と祈りました。無理はせず、時を待ちました。その間も教会に行き、日曜日の礼拝と好きな聖書の学びを続けました。

そしてまた、数年、いつの間にか教会への道中の景色に喜び、空の雲に感激、教会の庭の花を見て優しくなりました。

神様の偉大さに感謝する心を取り戻した時、教会の床を磨く手に力が入っていました。掃除機を念入りにかけている自分に気づき、ちよっぴり恥ずかしく、嬉しく思いました。

「ここから、神様ありがとう!」と口ずさむ私がいきました。そしてこの頃、教会への道中、仲間達の笑顔を楽しみに、嬉しそうに賛美歌を口ずさむ私が、軽く自転車を漕いでいます。私もすでに六十歳の坂を越えましたが、今は、教会に行くことが、生活の中にすっかり根付いています。

三十年ぶりに教会に戻りました

I・Y子

初めて教会に行ったのは小学二年の時、すぐに止めてしまい、次は小学六年。その後、友達もできて楽しいキャンプにも行きました。高校一年生になり、友達と一緒に洗礼を受けました。

が、これで一人前になったかと思いきや、教会へ行かなくても神様を信じていれば、十分と考えて教会へ行かなくなりました。

それから三十年が過ぎ、たまたま聖書を読んでいた時、教会を思い出して行きたくなりもう一度出かけました。こんな私でしたが、皆さんが温かく迎えて下さいました。改めて今、新鮮な思いで聖書を学んでいます。やはり自分一人では良く分からないし自分中心の信仰になうてしまいます。

神様は忍耐強く、私が教会に戻ることを待っていて下さったと感謝しています。

「わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。」

キリスト

俳句・短歌

二寧坂ハンカチだけが知る涙
夏バテやレモン塩なるもの作る

とことこと一人前に傘さして

園まで歩くがんばればんばれ

水色のイルカの形の抱き枕

またがる吾子は何処の海か

古都葉

今後のイベントを紹介します。

九月のイベント

十日(木)「敬老の集い」高齢者を囲んで会食。実費負担です。

十四日(日)敬老の日礼拝。祝福式。

十月のイベント

十五日(水)映画「ふつけもん」元祖便利屋右近物語。

京都テルサにて。有料(割引券有)。

二十六日(日)恒例の教会バザー

売り上げの一部を向日市社協と大阪西成のホームレス支援教会へ献金。

十一月のイベント

二十九日(土)京都クリスマスフェスティバル・京都教育文化センターにて午後六時より。出演者小坂忠他。